

武蔵野大学学術機関リポジトリ Musashino University Academic Institutional Repository

能楽各賞と活発な演能活動：2017年の能楽界

著者	西 哲生
雑誌名	武蔵野大学能楽資料センター紀要
号	29
ページ	33-36
発行年	2018-03-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1419/00000911/

〔時評〕

能楽各賞と活発な演能活動——二〇一七年の能楽界——

西 哲 生

まずは本年の慶事について記す。

日本芸術院会員に山本東次郎が就任。昭和一二年生まれ。山本東次郎家四世。父の三世山本東次郎に師事。

重要無形文化財保持者各個認定に大倉源次郎。昭和三二年生まれ。大倉流小鼓方宗家。大倉長十郎の次男。父に師事。復曲能・新作能への参加も多い。国立能楽堂（三役）養成研修主任講師。

日本芸術院賞を大槻文蔵が受賞。昭和一七年生まれ。大槻秀夫の長男。祖父の大槻十三、父、および観世寿夫に師事。

芸術選奨文部大臣賞を金剛永謹が受賞。昭和二六年生まれ。金剛流宗家。金剛巖の長男。父に師事。

文化庁芸術祭賞演劇部門大賞を三世梅若万三郎が受賞。橘香会の能「朝長」における演技による。昭和一六年年生まれ。二世梅若万三郎の長男。父に師事。

観世寿夫記念法政大学能楽賞を岡本章・松田弘之が受賞。岡本章は昭和二四年生まれ、早稲田大学卒。演出家。鍊肉工房主宰。松田弘之は昭和二八年生まれ。国立音楽大学卒。笛方森田流。田中一次・森田光春に師事。

本年も宗家継承あるいは襲名が見られた。

金春憲和、宗家継承。シテ方金春流八一世宗家。金春安明の長男。昭和五七年生まれ。

友枝昭世、宗家預りに就任。シテ方喜多流。故友枝喜

久夫の長男。一五世喜多実に師事。昭和一五年生まれ。

安福光雄、宗家預りを継承。大鼓方高安流。故安福建雄の長男。父に師事。昭和四五年生まれ。

茂山良暢、五世茂山忠三郎を襲名。狂言方大藏流。四

世茂山忠三郎の長男。昭和五七年生まれ。

野村虎之介、六世野村万之丞を襲名。狂言方和泉流。

九世野村万藏の長男。平成八年生まれ。

復曲上演は今年も積極的に催された（一部のみ記載）。

復曲「綾鼓」浅見真州。国立能楽堂特別公演、一月

二九日、国立能楽堂。

復曲「星」大槻文蔵。観世小次郎信光没後五百年記念・大槻能楽堂八〇周年記念特別公演、二月四日、大槻能楽堂。

復曲「樗天狗」塩津哲生（前）大槻文蔵（後）。塩津能の会、二月一日、喜多六平太記念能楽堂。

復曲「実方」大槻文蔵。大槻能楽堂自主公演能、四月一五日、大槻能楽堂。

復曲「吉備津宮」林宗一郎。吉備津宮復曲記念公演、

五月一三日、岡山市後楽園。

復曲「碁」片山九郎右衛門。大槻能楽堂自主公演能、七月八日、大槻能楽堂。

復曲「鐘巻」浅見真州。浅見真州の会、一〇月二日、国立能楽堂。

復曲「松山天狗」梅若玄祥。大槻能楽堂自主公演能、十一月一八日、大槻能楽堂。

大曲の上演、なかでも「道成寺」初演は能楽師として大事な節目となるものであるが、初演・再演を問わず、その上演記録を記すと次のとおりである（シテのみを記す。小書名は省略）。

観世鎮之丞（二月二四日）、河村博重（四月八日）、梅若猶義（四月九日）、観世清和（四月三〇日）、観世芳伸（五月六日）、松木千俊（九月二日）、内藤飛能（一〇月九日）、今村哲朗（十一月一日）、渡辺茂人（一二月二三日）。

「関寺小町」「姨捨」「檜垣」「鸚鵡小町」「卒都婆小町」

の五曲を老女物と称し、最奥の曲として扱っているが、その高位の順は、流儀により若干の差があると考えられる。左記に各曲の上演状況を記してみたい。

「関寺小町」——武田志房（二月四日）。

「姨捨（伯母捨）」——栗谷能夫（三月五日）、大槻文蔵（九月二四日）。

「檜垣」——塩津哲生（二〇月七日）、角当行雄（二〇月一四日）、片山九郎右衛門（二〇月二九日）、本田光洋（二二月一〇日）、鶴澤久（二二月二四日）。

「鸚鵡小町」——大坪喜美雄（五月四日）、当山孝道（二〇月二二日）。

「卒都婆小町」——梅若玄祥（一月二七日）、廣田幸稔（五月一四日）、田崎隆三（七月八日）、大槻文蔵（九月二日）、柴田稔（九月一八日）、波多野晋（九月一八日）、内田芳子（二月四日）。

能楽研修発表会「第一三回青翔会」（六月二三日）。国立能楽堂（三役）研修生をはじめとする若手能楽師の研鑽の成果を発表する会。能「杜若」（角幸二郎）ほか狂

言一番、舞囃子三番。

今年の特記事項としては観世能楽堂開場がある。祝賀能（四月二〇日～二四日）、日賀寿能（四月二五日～三〇日）が催された。（中央区銀座六ノ一〇ノ一、G I N Z A S I X 地下三階）

大阪能楽会館は目付柱、ワキ柱が取り外し可能な近代的能楽堂として親しまれてきたが、老朽化など諸般の事情により一二月末に閉館した。観世流シテ方の故大西信久が一九五九年に創設し約六〇年を経ていた。（大阪市北区中崎西二ノ三ノ一七）

鬼籍に入られた方々のお名前は次のとおりである。

本間英孝（二月一〇日）、シテ方宝生流。享年八三。佐渡の能大夫・本間家一八世。一七世宝生九郎に師事。

高橋弘（二月二日）、シテ方観世流。享年七〇歳。高橋静夫の三男。二五世観世左近に師事。

関根祥雪（本名・祥六、二月二二日）、シテ方観世流。享年八六。関根隆助の六男。

鏑木岑男（六月二七日）、ワキ方宝生流。享年八六。
鏑木健男の三男。宝生弥一に師事。

安福建雄（七月一七日）、大鼓方高安流宗家預り。享年七八。安福春雄の長男。人間国宝。

林喜右衛門（八月一五日）、シテ方観世流。享年七六。

吉井順一（九月一日）、シテ方観世流。享年八五。武田小兵衛の長男。吉井司郎の養嗣子。武田太加志に師事。

梅田邦久（二〇月五日）、シテ方観世流。享年八六。
九世片山九郎右衛門に師事。

観世元伯（二月一日）、太鼓方観世流。享年五一。
一六世観世元信の長男。

光田洋一（二月二八日）、笛方森田流。享年八三。
幸流小鼓方竹村圭之輔の長男。杉市太郎に師事。

（文中、敬称略）